

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名	地域高規格道路 一般国道23号 <small>おかざき</small> 岡崎バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：愛知県額田郡幸田町芦谷 <small>ぬかた こうた あしのや</small> 至：愛知県西尾市南中根町 <small>にしお みなみなかね</small>		延長	14.6 km		
事業概要	<p>一般国道23号岡崎バイパスは、額田郡幸田町芦谷を起点とし西尾市南中根町に至る延長約14.6kmの道路であり、名古屋都市圏と豊橋間を結ぶ地域高規格道路：名豊道路の一部区間を形成します。岡崎バイパスは、幹線道路の交通混雑緩和（国道1号、23号）、物流交通の効率化及び地域振興の支援を目的として事業を推進しています。</p>					
S55年度事業化	S50～51年度都市計画決定		S55年度用地着手	S61年度工事着手		
全体事業費	860億円		事業進捗率	79%		供用済延長 14.6 km (暫定供用)
計画交通量	43,800台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.0 (残事業) 11.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 162/1,148 億円 事業費：118/1,033億円 維持管理費：45/116 億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,888/3,419億円 走行時間短縮便益：1,783/3,195億円 走行費用減少便益：89/195 億円 交通事故減少便益：16/29 億円	基準年 平成19年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（幹線道路の交通混雑緩和） 物流効率化の支援（三河港のアクセス強化） 他 14項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 地元9市7町で構成される名豊道路建設推進協議会が早期整備を要望。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 岡崎市・安城市内の交通混雑・物流ルートの確保・海洋性リゾート事業の進展 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗率は79%、用地取得率は100%（平成19年度末見込み）。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> 概ね10年後に全線4車線供用予定。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 全体事業費約860億円のうち、約12億円のコスト縮減（主な縮減内容：構造形式の変更）を図る。 代替案として考えられる現道拡幅は、全線暫定供用していることにより不可能であり計画変更は困難。 					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。